

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所 エムボの木		公表日		令和8年 4月 1日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		午前・午後各5名の少人数制を活かし、こどもが過ごす場所（遊戯室・静養室・支援室）を主体的に選選択できる環境を整えている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		自立課題（個別）対応職員と自由遊び（全体）把握の役割を分担して配置している。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		ドアへのイラスト掲示により、活動場所の役割を理解できるよう視覚的支援を行っている。設備面は利用しやすい様式にしている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		こども達が教材や遊具を自ら選べる棚の配置と、見通しを持てる視覚支援を徹底。清潔な環境を保てるよう定期的な消毒と清掃を行う		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5		入所時に静養室の活用について丁寧に説明し、常にこども自身が主体的に選択したり声掛けをして休息できる環境を保障している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		職員全員が揃う時間帯に日々の打ち合わせ・振り返りを実施し、目標設定とその達成状況の確認を行っている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。		5		今回は初めての保護者評価となるので、今後いただいたご意見を全職員で共有し、業務改善につなげていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	施設長と全職員が定期的に意見を交換し、日々の支援における課題を共有している。組織全体で検討し支援の改善に取り組んでいる		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		5		現在は開設もないため、内部での評価体制を優先させている。外部評価の受診も前向きに検討したい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		学園内の職員会議や外部研修に参加し、知識の習得に励み、得られた情報を共有する等、職員全体の資質向上を継続的に図っている。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		ホームページで公開し、事業所玄関に掲示している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		面談で伺った保護者のニーズや困りごとを支援の重要な基盤として、個別支援計画の目標設定に反映させている。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		職員全員での検討会を行うことで、こどもの特性やニーズについて共通理解が深められ、それを基に計画を作成している。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		日々の打ち合わせ・反省会を設ける事で共通した関わりを継続できるようにしている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	1	4		標準化されたフォーマルなアセスメントの確認よりも、日々の生活場面での行動観察での理解を大切にしている。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	1	4		開所時に作成した第一期の支援計画は、ご家族のご希望を第一に反映させたため、支援内容の具体性において課題が残る側面があった。現在は、日々の行動観察に基づいた具体的な目標設定へ移行している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5		個別課題を指導した職員が中心に振り返りを行い、次回のプログラムを提案した内容を職員間で共有している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		伝統行事や季節を感じられる活動も計画に取り入れている。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	2	3		個別と小集団での活動を計画しているが、当日の利用状況によって個別活動が中心となる日もある。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	支援開始前に全職員が集まり、短時間でも集中してシフト表を活用して日々の支援内容や個々の行動確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	1	4		送迎等で職員が揃わない場合でも、音声入力システムを活用して情報を記録・共有し、全職員で情報を確認できる環境を整えている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		自立課題活動の担当職員が責任を持って実施記録を作成し、振り返りの場でその内容を共有、次回の支援改善につなげている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。		5		開設間もなく、支援計画の見直し時期には至っていないが、支援が必要な場面ではその都度話し合いを行い見直しを行っている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		関係機関との会議では、保護者や相談支援専門員と密に連携し、こどものニーズについて共通理解を深められるようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。		5		医療連携体制は整っているが、障害福祉機関との連携については現在調整を進めている段階。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5		併行利用にあたっては事業所間で連携し情報共有を行っている。インクルージョンに関しては今後こども達や地域の中で共に育ち合える環境を作っていくたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		5		新学期は環境が大きく変化する時期の為、落ち着いてから話し合いの場を設ける事を学校側と合意している。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4	1	必要に応じて相談支援センターの専門員さんからアドバイスを受ける機会を設けている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		5		開設前に近隣の施設に挨拶に行ったが、まだ交流する機会を作れていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	1	個別参観日を設け、こどもの姿を見てもらいその後の面談で日ごろの困りごとやニーズを伺い共通理解している。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	4		ご家族への助言・アドバイスはその都度行っているが、今後は家族が参加できる研修への提案もしていきたい。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		見学时や入所前の手続き等のタイミングで丁寧に説明する時間を設けている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		計画を作成する際には、面談で伺った保護者の希望と共にこどもの最善の利益を優先する検討会を開いている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		各項目について個別に丁寧な説明を行い、理解を得られるよう配慮したうえで同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	2	3		開所間もない為、定期的にはではなく必要に応じて面談を提案し、必要な助言や支援を行えるようにしている。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		5		今後、保護者同士が交流できる場を開催予定 (6月・1月 於 エムポリアム並木保育園ホール)
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		保護者からの申し入れは現在ないが、対応の体制は整えている。	

	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5		月始めに“エムボの木だより”を配信し、日々の活動の様子はアプリを通して保護者へ発信している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		職員全体で個人情報の取り扱いについて周知・徹底を図り、適切な管理をしている。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		視覚支援の活用や手続きに関するサポートの提案を行うなど、障害の特性や保護者の状況に応じた情報伝達に配慮している。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5			開設間もなく、まだ地域住民との交流を持つ機会を作れていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	1	4		各マニュアルを作成して発生を想定した訓練を実施しているが、マニュアルを保護者に周知していなかった。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		各委員会を設置し、担当職員のもと定期的に訓練を行っている。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5		入所前に子どもの健康状況を把握し、必要な際に対応できる体制を整えている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		5		現在アレルギー対応が必要な児童はいない。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		各委員会を設置し、担当職員のもと定期的に訓練を行っている。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	1	4		安全確保のための連携は図れているが、安全計画に基づく取り組みとはなっていない為、今後は家族への周知を行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		日々の打ち合わせ・反省会時に対応した職員が報告し、全職員で共有・検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		年に3回虐待防止委員会主催の研修会を予定している他、学園内の会議に参加し資質向上に努めている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	1	4		身体拘束について学ぶ機会を設けているが、保護者への説明や支援計画への記載は十分とは言えない為、今後体制の整備を図りたい。